

2026年度「ミュージアム・リレー」

—豊かな自然と文化に恵まれた西さがみ地域だからできる、ここだけのお得な体験が続々—

ミュージアム・リレーとは？



神奈川県西部地域のミュージアム施設が相互交流を通じて生涯学習時代にふさわしい「開かれたミュージアム」のあり方を探求するために平成8年に「神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会（通称：WESTKAMS）」が設立されました。その加盟施設が、施設の特色を活かした特別な企画や、スタッフによる分かりやすい解説を行う、リレー形式の催しです。ミュージアムに親しみ、理解を深める機会としていただけますよう、皆さまのご参加をお待ちしております。

シンボルマーク

※感染症等の状況により、イベントや解説の中止、定員の見直しが生じる場合があります。最新の情報は各施設にお問い合わせください。

【お申込み方法】施設ごとに指定の方法でお申し込み下さい。

○電話・メールの場合（先着順）：参加人数、参加者全員の住所・氏名・電話番号をお伝えください。

○往復葉書の場合（抽選）：次の内容を書いてお申し込みください。（締切日必着です）

往信面：①参加希望の館名、②参加人数、③参加者全員の住所・氏名・電話番号

返信面：①申し込まれた方の住所・宛名

○博物館ウェブサイトの申込フォームの場合（抽選）：フォームに従い、必要事項を入力してください。

* 特に記載のない限り各開催日の3か月前から受け付けます。 * 各施設、お1人・1グループにつき1回の申込みでお願いします。

* 開催場所への移動は各自でお願いいたします。

* 別途、駐車料金がかかる場合があります。

第371走	4月17日(金) 10:00~12:00 【箱根ビジターセンター】
春の暖かくなり始める季節、ビジターセンター周辺の自然の目覚めを感じる観察会を、のんびりお散歩しながら開催します。見頃を迎えたマメザクラやヤマザクラといった桜の花、ミツバツツジやたくさんの種類があるスマイレの仲間、美しい花や芳しい香り、更には南の国からやって来た色鮮やかな夏鳥や春を待ち望んだ留鳥の囀り、賑やかなカエル声などなど…。五感をフルに使って箱根の春を満喫しましょう。歩きに自信のない方や小さなお子様も皆さん大歓迎です。ご家族、お友達お誘い合わせの上で参加ください。	
定員・参加費	20名・1,000円(解説付き) ※定員に満たない場合、当日受付も可
申込方法	電話かメールで4月10日(金)まで Tel.0460-84-9981 メール:hakone-vc@kanagawa.email.ne.jp

第372走	5月8日(金) 10:00~12:00 【MOA美術館】
MOA美術館は熱海市の高台にあり、相模灘が眺望できる美術館。展示空間は世界的に活躍するアーティスト・杉本博司がデザインしました。当日は国宝「喜左衛門井戸」×国宝「色絵藤花文茶壺」茶の湯のわびと雅を開催しています。京都・大徳寺孤蓬庵から井戸茶碗の最高峰である国宝「喜左衛門井戸」を出品いただき、日本人が愛好する「わび」と「雅」の美意識を象徴する二大国宝を36年ぶりに同時公開します。学芸員によるスライドレクチャーを行います。	
定員・参加費	20名・1,300円(通常 大人2,000円)
申込方法	往復葉書で5月1日(金)必着 〒413-8511 熱海市桃山町26-2 MOA美術館 ミュージアム・リレー係 宛 Tel.0557-84-2511

第373走	5月15日(金)	
10:00~12:00 【箱根美術館】	13:00~13:50 【箱根写真美術館】	14:00~15:30 【箱根強羅公園】
箱根美術館は3,200坪の名勝庭園(神仙郷)と、その中に登録有形文化財となっている8つの建造物によって構成されています。今回はその中で大正期に建てられた旧藤山雷太氏別荘だった神山荘(通常非公開)と、四季の花々や箱根の山並みなど景色も楽しめる名勝庭園をスタッフがご案内し、茶室・真和亭で苔庭を眺めての呈茶をお楽しみいただけます。(美術館本館・別館は改修工事のため見学できません)	箱根写真美術館は、箱根出身の写真家・遠藤桂が撮り続ける富士山作品を常設する個人立の美術館です。常設展の富士山写真展と企画展『富士箱根伊豆国立公園指定90周年記念 箱根写真美術館コレクション 山田應水と日本の国立公園』をご覧ください。	強羅駅から徒歩約5分にある「箱根強羅公園」は1914年に開園し、110年を超える歴史を有しています。シンボルであるヒマラヤ杉や噴水池をはじめ、登録有形文化財のお茶室「白雲洞茶苑」や熱帯植物、ブーゲンビリア館などをお楽しみいただけます。当日は箱根町花にも認定されている約20本のハコネサンショウバラをはじめ、歴史あふれる園内を、スタッフが丁寧にガイドします。
定員・参加費	20名・3館で1,600円(通常2,580円) ※3館共通の申し込みとなります	
申込方法	電話で5月6日(水)必着 Tel.0460-82-2623 箱根美術館リレー係 宛	

第374走	5月22日(金) 10:00~12:00 【小田原文学館】	
北村透谷・牧野信一・川崎長太郎・谷崎潤一郎・三好達治・坂口安吾など小田原ゆかりの文学者を紹介する本館、大正時代に小田原で童謡等を創作した北原白秋を顕彰する別館 白秋童謡館、市内曾我谷津から部分移築した尾崎一雄の「冬眠居」からなります。国登録有形文化財である本館・別館は明治期の政治家 田中光顕の旧別邸(本館は曾禰達藏設計)、庭園の一部は日本の歴史公園100選に選定されています。当日は、本来の姿に近い形で復元された庭園や開催中の貴重資料特別公開など、施設の見どころをご案内します。		
定員・参加費	20名・無料(通常 大人250円)	
申込方法	電話または文学館HPの申込フォームで4月10日(金)9時~5月20日(水)17時 Tel.0465-49-7800 小田原市立中央図書館	

第 375 走		6月3日(水)	
10:00~11:00 【箱根町立箱根ジオミュージアム】		13:30~14:30 【箱根駅伝ミュージアム】	
館内見学と屋外観察会（悪天候時は中止）を予定しております。館内見学では箱根の温泉や火山の形成史、火山の観測についての紹介や大涌谷の硫黄や岩石の標本等を観察します。屋外観察会では展望台から見える大涌谷の噴気や蒸気井をはじめ、周辺の箱根火山や富士山等の地形を解説します。（※大涌谷自然研究路への引率入場をご希望の方は、別途お申込みください。）		2026年第102回大会を迎えた箱根駅伝。1920年の第1回大会から今日に至るまで、数々の名場面を生みだした箱根駅伝の歴史にふれることができます。各大会の名シーンを記録した貴重な写真や、往年の名選手が愛用した品々、そして真剣勝負の裏側にあるさまざまなエピソードなどを、テーマで区切り展示してあります。箱根駅伝の歴史をお楽しみください。	
定員・参加費	20名・100円（解説付き）（※対象：小学生以上）	定員・参加費	20名・600円（解説付き）（通常 大人 750円）
申込方法	メールで6月2日（火）まで Tel.0460-83-8140 メール:geo-museum@town.hakone.kanagawa.jp お車で越えの方へ：駐車場待ちで渋滞の可能性があります。 ロープウェイで越えの方へ：強風等で運休する場合があります。	申込方法	電話で6月2日（火）午前中まで Tel.0460-83-7511

第 376 走		8月28日(金) 13:15~14:45 【神奈川県立生命の星・地球博物館】	
地球の誕生から現在までの46億年にわたる歴史と生命の多様性をわかりやすく、巨大な恐竜やいん石から豆粒ほどの昆虫まで1万点にのぼる実物標本を展示しています。当日は特別展「里山の動物たち（仮称）」を学芸員がご案内します。人里と奥山の間にある里山には、昔からたくさんの生き物がすんでいて、さまざまなかたちで人々の生活と関わってきました。本特別展では、里山の現状や調査研究から見えてきた野生動物の生態を紹介し、これからの人と里山の生き物たちとの関わり方について考えます。			
定員・参加費	20名・無料（通常 大人 520円等）		
申込方法	博物館ウェブサイトの申込フォーム（URL:https://nh.kanagawa-museum.jp/）で8月15日（土）まで（お問合せ）神奈川県立生命の星・地球博物館 リレー係 宛 Tel.0465-21-1515		

第 377 走		9月25日(金)	
10:00~12:00 【箱根湿生花園】		14:00~15:30 【箱根ガラスの森美術館】	
箱根仙石原にある植物園。湿原をはじめとして、河川や湖沼などの水湿地に生育する植物を観察することができます。当日は、この時期に見頃を迎えるアケボノソウ、エゾリンドウ、アサマフウ口、ミヤコアザミといった秋の湿原を代表する植物を職員の解説によりご案内します。企画展会場では、秋を代表する草花を一堂に集めた展示会を開催中。ジウロウホトトギスとその仲間もご紹介致します。		お陰様で箱根ガラスの森美術館は2026年8月8日に開館30周年を迎えます。今回のミュージアム・リレーでは、特別企画展「描かれたヴェネチアン・グラス」をご案内いたします。 私たちは絵画に描かれたガラスから、どのような形のガラス器がいつごろから作られ、どのように使われていたのかを知ることができます。本展では、古代から現代までの「描かれたガラス器」を手がかりにガラス工芸史を辿りつつ、当館所蔵のヴェネチアン・グラスを新たな視点からご紹介いたします。	
定員・参加費	20名・大人 350円、小人（小学生）200円（通常 大人 700円、小人（小学生）400円）	定員・参加費	30名・1,000円（解説付き）（通常 大人 1,800円） ※駐車料金 500円 無料の第3駐車場も近くにあります。
申込方法	電話で9月24日（木）17時まで Tel.0460-84-7293	申込方法	メール（gakupei@hakone-garasunomori.co.jp）で9月17日（木）まで 箱根ガラスの森美術館 ミュージアム・リレー係 宛 （お問合せ）Tel.0460-86-3111

第 378 走		10月2日(金)	
10:00~12:00 【箱根関所】		13:30~15:00 【神奈川県立恩賜箱根公園】	
箱根関所は、江戸時代に「東海道」の往來を監視する役割を担い、江戸幕府を支えた交通の要でした。現在は、幕末に大規模改修された際の史料や発掘調査の成果に基づき、当時の環境を高度に復元したもので、日本遺産「箱根八里」を構成するひとつでもあります。関所スタッフの解説とともに、一般公開していない建物の内部までご案内いたします。「一歩足を踏み込めば、そこはまさしく江戸時代！」当時の旅人気分になって、ご堪能ください。皆様のご参加をお待ちしております。		神奈川県立恩賜箱根公園は、皇族の避暑や海外からの賓客をもてなすために明治19（1884）年に造営された「箱根離宮」の跡地に広がる公園で、園内には今もなお、箱根離宮「西洋館」の礎石や門柱頭装飾、二百階段などの遺構が残されています。また、箱根屈指の眺望スポットでもあり、すっきりと晴れた日には、手入れの行き届いた庭園から富士山と芦ノ湖の絶景をお楽しみいただけます。当日は園内をゆっくり散策しながら、公園の様々な魅力についてご案内します。	
定員・参加費	20名・無料（通常 大人 500円）	定員・参加費	20名・無料（解説付き） ※恩賜箱根公園駐車場は有料
申込方法	電話かメールで9月30日(水)まで Tel.0460-83-6635 メール sekisho@town.hakone.kanagawa.jp	申込方法	電話かメールで10月1日（木）16:30まで Tel.0460-83-7484 メール onsi-hakone@kanagawa-park.or.jp

第 379 走		10月23日(金)	
10:00~12:00 【中川一政美術館】		13:30~15:30 【真鶴町立遠藤貝類博物館】	
真鶴町にアトリエを構え、戦後の日本洋画壇をけん引し、文化勲章受章者である中川一政画伯(1893-1991)の美術館です。当館では中川画伯の絵画、書、陶芸、蒐集品など総計 850 点の作品を収蔵し、その中から常時約 50 点を出品し、年間 3 回展覧会を開催しています。当日は、展示を学芸員の解説とともにご案内します。真鶴半島の樹林に囲まれた落ち着いた環境の中で、98 歳を目前にして亡くなるまで精力的に創作に取り組んだ中川画伯の芸術世界をご堪能いただけます。		当館は県立真鶴半島自然公園の先端にあり、真鶴町出身の貝類研究者である 故 遠藤晴雄氏が収集した 4,500 種 50,000 点に及ぶ貝類の標本を中心に、海の生物に関する展示を行っています。中でも、真鶴の磯を再現したジオラマや「生きた化石」と呼ばれる 27 種類のオキナエビス類の展示は当館ならではです。貝類を通して、海の生物の多様性と自然の不思議と一緒に学びましょう。	
定員・参加費	20 名程度・400 円 大学生以下無料(通常 大人 800 円)	20 名・無料(通常 大人 300 円)	
申込方法	電話で 10 月 20 日(火) 17 時まで(毎週水・木曜は休館日) Tel.0465-68-1128	電話で 10 月 20 日(火) まで Tel.0465-68-2111	

第 380 走		11月13日(金)	
10:00~12:00 【箱根神社宝物殿】		14:00~16:00 【箱根町立郷土資料館】	
箱根神社宝物殿は所蔵する宝物資料の展示を通して箱根神社の歴史と文化を紹介しています。当日は常設展と共に企画展『関東総鎮守―鎌倉幕府将軍の箱根信仰』が開催されています。 本展は将軍源頼朝が創始した「二所詣」(伊豆・箱根二所権現と三島明神の参詣)を中心に、当神社を「関東総鎮守」と尊崇した歴代将軍の箱根信仰を紹介しています。主な展示品には、鎌倉幕府将軍源頼朝の参詣行列を描いた錦絵「源頼朝行列乃図」や「源頼朝公上洛之図」を始め「関東総鎮守」や「箱根大権現」の扁額などがあります。		箱根が湯治場から国際的な温泉観光地へと移り変わっていく江戸時代以降の様子を、温泉開発や交通網の整備などを絡めて紹介しています。ミニチュアの「わらじ作り」体験ができるコーナーもありますので、お立ち寄りの際はぜひチャレンジしてください。 今回は、箱根町の町制が施行されてから 70 周年の節目にあたる年であるため「企画展 箱根町町制施行 70 周年記念展(仮)」として、村から町へと移り変わる前後の風景、暮らしなどを比較し、時代による箱根の変化を解説します。	
定員・参加費	20 名・350 円(通常 大人 500 円)	15 名・無料(通常 大人 300 円)	
申込方法	電話で 11 月 1 日(日) まで Tel.0460-83-7123	電話で 11 月 12 日(木) まで Tel.0460-85-7601	

第 381 走		12月3日(木) 10:00~12:00 【箱根ラリック美術館】	
フランスを代表するジュエリーとガラスの工芸家 ルネ・ラリック(1860-1945)の生涯を辿るコレクションを展示しています。当日は、七宝の技法を用いた色鮮やかな宝飾品や、目には見えない香りをボトルの造形で表現した美しいデザインの香水瓶、ガラスの花器、空間をガラスで演出した装飾パネルや噴水など、約 230 点の作品をご覧ください。ジュエリーとガラス工芸の両分野で新たな境地を切り拓いたラリックの創作姿勢や想いについても、スタッフがわかりやすく解説します。			
定員・参加費	30 名・800 円(通常 大人 1,500 円)		
申込方法	往復葉書で 11 月 18 日(水) 必着 〒250-0631 足柄下郡箱根町仙石原 186-1 箱根ラリック美術館ミュージアム・リレー係 宛 Tel.0460-84-2255		

第 382 走		12月11日(金)	
10:00~12:00 【おだわら諏訪の原公園】		13:30~15:30 【小田原市尊徳記念館】	
里山の自然や地域文化とのふれあいを通じて、遊びながら学ぶ喜び、発見できる喜びを体験できる「ふるさとふれあい公園」です。クラフトコーナーのあるパークセンターや芝生の広場、眺望抜群の展望台、169mのローラー滑り台、果樹園などがあります。また、未病を改善する取り組みを気軽に実践いただける「未病いやしの里」の運動の駅として、毎日のラジオ体操や運動イベントの開催を行っています。当日は当園の果樹園でミカンを中心としたガイドツアーや収穫体験を行います。		当館は、二宮尊徳翁(二宮金次郎)および報徳仕法の顕彰・普及を目的としてつくられた施設です。尊徳翁の生誕地栢山に位置し、敷地内に翁の生家やジオラマ、生涯を解説する展示室があります。また、当館の周辺には、翁にまつわる史跡や、顕彰のモニュメントが複数あります。当日は学芸員によるミニ講座と展示室・周辺史跡の見学を行います。	
定員・参加費	10 組・500 円(1 組)(通常 1 組 1,000 円)	30 名・無料(通常 大人 200 円)	
申込方法	電話で 11 月 11 日(水) 10 時~(先着順) Tel.0465-34-0404(8:30~17:30)	電話で 11 月 9 日(月)~12 月 9 日(水) まで Tel.0465-36-2381	

第 383 走		12月22日(火) 10:00~12:00 【町立湯河原美術館】	
当館は、明治期に創業した「天野屋旅館」の建物を改装してできた美術館。かつて竹内栖鳳、夏目漱石、安井曾太郎など多くの文人墨客が滞在し、収蔵品はその歴史に由来しています。コレクションのもうひとつの中核が、現代日本画家・平松礼二の作品です。平松作品を展示する「平松礼二館」、公開アトリエや資料室があります。当日は、特別展として開催中の彫刻家・安藤榮作と画家・中津川浩章のコラボレーション展を中心に、みどころを学芸員がご案内します。			
定員・参加費	15 名程度・400 円(通常 大人 600 円)		
申込方法	電話で 12 月 21 日(月) まで(先着順) Tel.0465-63-7788		

第 384 走		2027 年 2 月 3 日(水)	
10:00~12:00 【小田原城天守閣】		13:30~15:00 【小田原市郷土文化館】	
小田原城天守閣の館内では、小田原城の歴史や歴代城主などについての展示をしています。最上階では江戸時代の天守にあった摩利支天像を祀る空間を再現しており、また、展望回廊では、小田原の市街地や相模湾などの景色をご覧いただけます。今回は、小田原城天守閣の展示を中心にご案内します。(※入城及び各階への移動は階段のみです。)		豊かな自然環境を背景に、旧石器時代から現代までの悠久な歴史をもつ小田原の資産を今に伝える博物館です。悠久な歴史を背景に生み出された郷土資料を収集・保管・活用するとともに郷土文化醸成に資する活動を行っています。当日は展示をご覧いただき郷土小田原の魅力を感じていただけるように学芸員が解説します。	
定員・参加費	10 名・無料 (通常 大人 1,000 円)	定員・参加費	10 名・無料
申込方法	電話かメールで 2026 年 12 月 3 日(木) 9 時から 2027 年 1 月 29 日 (金) 17 時まで Tel.0465-23-1373 小田原城総合管理事務所 メール:odawara-castle@city.odawara.kanagawa.jp	申込方法	電話で 2027 年 1 月 5 日 (火) ~ 2 月 2 日 (火) まで Tel.0465-23-1377 小田原市郷土文化館

第 385 走		2 月 17 日(水) 10:00~12:00 【小田原フラワーガーデン】	
四季折々の花が楽しめる小田原フラワーガーデンの 2 月は、梅の季節です。公園の約半分の面積 (約 2ha) に広がる「溪流の梅園」は、約 300 品種 500 本の梅が植栽されており、梅の品種は県内最多数を誇ります。 当日は梅のメメ知識や品種ごとの見所が分かる「溪流の庭園ガイドツアー」や、約 300 種類の熱帯植物が楽しめる「トロピカルドーム温室ガイドツアー」を行います。また、すっぱいレモンが甘くなる!? 不思議な果実体験「ミラクルフルーツ体験」も行います。			
定員・参加費	20 名・200 円 (通常 大人 500 円)		
申込方法	電話で 2 月 16 日 (火) 17 時まで Tel. 0465-34-2814		

第 386 走		2 月 26 日(金) 13:15~14:45 【神奈川県立生命の星・地球博物館】	
地球の誕生から現在までの 46 億年にわたる歴史と生命の多様性をわかりやすく、巨大な恐竜やいん石から豆粒ほどの昆虫まで 1 万点にのぼる実物標本を展示しています。当日は企画展「森は動く(仮称)」を学芸員がご案内します。武田信玄の軍旗として有名な「風林火山」では、「其の徐かなること林の如く」と言われていますが、森(林)も動いています。静かに見える森の中で、森の木々はさまざまな駆け引きをしています。そんな「森の動き」に迫ります。			
定員・参加費	20 名・無料 (通常 大人 520 円等)		
申込方法	博物館ウェブサイトの申込フォーム (URL:https://nh.kanagawa-museum.jp/) で 2 月 13 日 (土) まで (お問合せ) 神奈川県立生命の星・地球博物館 リレー係 宛 Tel.0465-21-1515		

第 387 走		3 月 5 日(金)	
10:00~12:00 【江戸わ〜るどミュージアム 江戸民具街道】		14:00~16:00 【二宮町ふたみ記念館】	
当館は、江戸期を中心に、明治・大正・昭和初期までの庶民の生活道具約 1500 点を常設展示する体験型ミュージアムです。知恵と工夫、使う人への思いやりの心、職人の高い技術によって生み出された日本の素晴らしい道具類。 ランプ、ストーブ、時計、ラジオ、エジソンの発明品等、海外の資料も展示しております。庶民の生活に密着した道具類から、「東洋のエジソン」と呼ばれたからくり儀右衛門の発明品、また、天文時計「正時版符天機」など、幅広い展示をぜひお楽しみ下さい。		ふたみ記念館は、二宮が生んだ異才の洋画家「二見利節(ふたみとしとき)」の記念館で、利節の生誕 100 年を記念して 2011 年 10 月に開館しました。 戦前の利節は、若くして新文展連続特選の新進気鋭の画家として活躍しました。沖縄での壮絶な戦争体験を経て、戦後はアトリエに籠って制作に没頭し、無数の独創的な作品が描かれます。晩年は、ルーピングにパステルで描く画家独自の幻想的な世界が構築されています。当日は、利節の生涯や作品について解説します。	
定員・参加費	20 名・300 円 (通常 大人 500 円、小学生 400 円)	定員・参加費	20 名・無料 (通常 一般 200 円)
申込方法	メールで 3 月 4 日 (木) まで メール:edoming.museum@gmail.com (お問合せ) 0465-81-5339 (土・日・祝日のみ)	申込方法	電話で 2 月 3 日 (水) 10 時から 2 月 26 日 (金) 16 時まで(先着順) Tel.0463-70-3210 (ふたみ記念館) 毎週月・火曜日は休館日

主催：神奈川県西部地域ミュージアムズ連絡会 (通称 WESKAMS)

(事務局)：神奈川県立生命の星・地球博物館 企画普及課 〒250-0031 小田原市入生田 499 Tel.0465-21-1515